

第3学年1組 道徳学習指導案

平成20年12月3日(水) 第2校時

授業者 教諭

- 1 主題名 つながる命 3-(2) 生命尊重
- 2 資料名 「いのちのまつり」(絵本)(サンマーク出版 著者:草場一壽)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分の命は、親からもらっただけでなく、先祖から頂いたかけがえのない大事な命である。しかし、児童を取り巻く社会では、親子、兄弟での殺人や少年の犯罪など信じがたいほどの命を軽視した事件が相次いで報道されている。

自分の命は自分だけのものではないことや、自分はたくさんの命を受け継いだかけがえのない存在であることに気づかせ、これからよりよく生きようとする態度を育てたい。また、自分だけではなく友達の命も全て大切であり、学年の目標である「助け合うなかま」を目指してみんなで仲良く助け合って生活していこうとする気持ちを育みたいと考え、この主題を設定した。

(2) 児童について

明るく元気な子が多い。3年生の後半になり、遊びの種類や範囲が広がって活発に行動している。しかし、その遊びの中で、些細なことからけんかになったり、悪口を言ったりすることがよくある。平気で友達の体や心に傷を付けてしまっていることに、あまり気づいていないようである。自分自身が今存在していることや生きていることを当たり前だと思い、生きていることのすばらしさを意識しないで生活していることが多いものと思う。

11月に、国語科で「ちいちゃんのかげおくり」を学習し、ちいちゃんの小さな命がなくなり、未来や希望まで奪われてしまったことへの悲しみ、悔しさを感じているところである。この時期に、命について考えさせたい。

(3) 資料について

この絵本のサブタイトル「ヌチヌグスージ」とは、沖縄の方言で“いのちのお祝い、いのちのお祭り”という意味である。始まりも終わりもない命のつながり、自分自身が奇跡の存在であること、与えられた生命を光り輝きながら共に生き抜くことが「ヌチヌグスージ=いのちのまつり」である、と作者は話している。

自分に命をくれた人は、父母で、その父母に命をくれた人は祖父母達で…終わらない長い長いつながりがある。この絵本のおばあさんと孫の会話「いのちをくれた人をご先祖様と言うんだよ」、「ご先祖様って何人いるの?」から、児童達にも指を折って教えさせてみることにしたい。そして両手で数え切れない人がいることに気づかせていきたい。

(4) 指導について

絵本を読み聞かせることによって、視覚に訴える「絵の力」を通し、直感的に児童の想像・共感を大きく膨らませて主題を訴えることができると考えた。

また、妊婦さんを招いて、赤ちゃんが授かったと分かったときの気持ちや気をつけていることなどを話してもらうことによって、自分がお母さんのおなかにいたときにもそうしてもらったろうということを想像させたい。

今までの自分の行動を振り返ったり、これからの自分の生き方を考えたりして心の中で対話をし、静かに書くことによって、尊い命について考えさせたい。

4 本時のねらい

生きていることのすばらしさを感じ取り，自他の命を大切にできる心情を育てる。

5 準備物

絵本「いのちのまつり」，提示用資料（父母・祖父母などの顔の絵），
相田みつおさんの詩，ワークシート

6 本時の学習過程

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	1. 妊婦さんの話を聞いて，考える。 ○おなかに赤ちゃんが居るとき，どんなことに気をつけているでしょう。 ・ 転ばないように ・ 風邪を引かないように ・ 栄養のあるものを食べる	・ 自分のお母さんに置き換えて考えさせる。
考える・見つめる	2. 「いのちのまつり」の話を聞いて，話し合う。 ○命は誰からもらったのでしょうか。 ・ お父さんとお母さん ・ おじいちゃんとおばあちゃん ○自分の命が今あることをどう思いますか。 ・ 不思議な気持ち ・ なくしてはいけない ・ 大切にしなければいけない ・ 一生懸命に生きなければいけない ○命って大切だと思ったのはどんなときですか。 ・ 病気で入院したとき ・ 交通事故にあったとき ・ おばあちゃんが死んだとき ・ 大切に飼っていたペットが死んで冷たくなったとき	・ 絵本の前半部分までを読み，答えの部分を書く前に考えさせる。 ・ 母子家庭の子に配慮する。 ・ 顔の絵を提示することによって，たくさんの先祖からいただいた命であり，誰一人欠けても存在できなかったことを視覚を通して理解させる。 ・ 今までに経験したことを思い出させる。 ☆生きていることのすばらしさに気づくことができたか。 （ワークシート・発表）
深める	○先祖からつながっている自分や友達の命を大切にするには，どうしたらよいでしょう。 ・ 危ないことをしない ・ 暴力をふるわない ・ 傷つける言葉を言わない	☆命は受け継がれていることに気づき，自他の命を大切にしようとする気持ちがもてたか。（ワークシート・発表）
高めめる	3. 教師の話を聞く。 ○先生の話をお聞きしましょう。 ○みんなで「いのち」の詩を声に出して読みましょう。	・ 声に出して詩を読むことにより，命の尊さや生きていることのすばらしさを深く味わわせる。

7 授業の観点

絵本を読み聞かせることは，主題に迫ることに有効であったか。